

令和4年 鏡野町消防出初式

4月17日(日)、鏡野町文化スポーツセンターで、「令和4年鏡野町消防出初式」が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して行われ、消防団員、消防職員50名が参加しました。

式で、山崎町長が「大規模多様化する災害に備え行政、消防団、自主防災組織、地域団体、町民が一体となり、より強固な防災体制づくりを進めていきます。」と訓示を述べました。

続いて、赤坂団長より、「平素から訓練等に努めるとともに、災害現場においては『安全、迅速かつ的確な行動』ができるよう、準備しておくことが必要です。消防の使命を再確認するとともに、地域防災の要として、今後も一層消防活動に精励されますようお願いいたします。」と式辞を述べました。

また、優良消防団員表彰が行われ、消防庁長官表彰1名、岡山県知事表彰5名、日本消防協会会長表彰5名、岡山県消防協会会長表彰19名、美作地区消防連絡協議会会長表彰7名、鏡野町消防団団長表彰53名が表彰されました。



第29期 緑のふるさと協力隊着任式

4月12日(火)、鏡野町役場応接室において、緑のふるさと協力隊着任式が執り行われました。今年度の協力隊には、埼玉県出身の為国友梨さんと奈良県出身の福井華奈子さんが着任されました。

着任にあたり為国さんからは「もっと色々なことに触れてみたい、挑戦してみたいという思いから今回鏡野町に来るご縁をいただきました。1年間どうぞよろしくお願いします」と、福井さんからは「新しく自分でも何かに挑戦してみたい、行なったことのない土地で様々なことに触れてもっと成長したい、役に立ちたいという思いで来させていただきました。鏡野町で1年間頑張っていきたいと思えます」と挨拶がありました。

これを受けて山崎町長から「鏡野町は色々なことに挑戦できる場所ですので、お二人とも、是非鏡野町で大いに暴れてください」と歓迎の言葉が送られました。

為国さんと福井さんは、1年間鏡野町に移り住み、町内各地で様々な活動を行います。



交通安全用品贈呈式

4月13日(水)、鏡野町役場応接室において、交通安全用品の贈呈式が行われました。

トマト銀行津山支店黒田支店長から山崎町長へ交通安全用品夜光タスキが贈呈されると、山崎町長は「鏡野町でも痛ましい交通事故が発生した。町内では健康づくりで歩いている人が多いので、夜光タスキを配って交通安全に役立てます。」とお礼を述べました。

